造影検査のご説明

本日の検査は、造影剤を注射しながら行う可能性があります。
造影検査の利点は、病気の状態を、一層はっきりさせることです。

一般の薬と同様に、造影剤にも副作用が起こりえます。　以下に造影剤の副作用についてご説明致します。

１．造影剤を注射すると身体が一時的に熱くなりますが、これはご心配ありません。検査終了時にはほとんどの場合改善します。

２．100 人に 2～3 人ほどの方で、吐き気・不快感・じんましん・発赤・かゆみなどの一時的な症状があります。

３．体質により、10 万人から 20 万人に１人の割合で、治療を要する重篤な状態や、また極めてまれですが生命にかかわるような場合もあります。

４．まれに注射をした部位に痛みが残る場合があります。

５．授乳中の方は、４８時間は授乳を避けていただきます。

したがって、無用な造影検査は行われるべきではありません。しかし、造影剤による副作用の可能性を考慮しても、造影検査が必要となるのは、造影検査により明確な画像診断が可能となり、病気をさらに正確に診断し、最良の治療方針を立てるために役立つと判断された場合です。万が一の副作用が現れた場合には、直ちに適切な対応が講じられるように準備を整えており、速やかに処置致します。

造影剤の副作用・必要性を充分にご理解いただいたうえで、下記にご署名をお願い申し上げます。　　ご質問があれば、お気軽にお尋ね下さい。

造影検査を受けることに　　□　同意します。
□　同意しません。
□　もっと詳しい説明をして欲しい。

平成　　年　　月　　日

ご署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（続柄　　）

（患者様ご本人が未成年の場合は、保護者がご署名下さい。）

お茶の水駿河台クリニック